

審判係 様

各レーン責任者（レクリエーション協会・スポーツ推進委員）様

審判は試合のないチームから1人ずつ出してもらいます。一人はゲームの進行を、もう一人は、スコアカードの記入をお願いします。

本日のゲームの進め方です。よく読んで、混乱のないようにしてください。

ゲームの前に

- 1 各レーンにスコアカードを置いておきますので、選手名を記入してもらって、審判に提出してもらいます。

ゲームの進め方

- 1 整列します。その際には選手3人のみ投げる順に並びます。
- 2 相手と握手をします。
- 3 主将（5・6投者）同士がじゃんけんで投球順を決めます。
- 4 「礼」の合図で礼をして、1・2投者は投げる準備をします。
主将は、エンドラインの後ろまでいき、1・2投者に指示をします。
- 5 1・2投者が交互に投げ終えたら、主将とエンドラインの後ろに行き、交代します。
- 6 3・4投者が投げえたらエンドラインの後ろまで行きます。
- 7 5・6投者が投げ終えたら、副主将（3・4投者）が得点の確認をしてスコアカードにインニングで得点のあった者が得点を記入します。
- 8 前のインニングで勝ったチームが次の回で先行。負けた方が後攻になります。
- 9 ジェットローラをもって次のインニングの準備をします。
- 10 試合終了後は、ジェットローラを元の位置に戻して、整列をして、責任者の得点の確認後「礼」をして、握手をして終わります。

ルールの確認

- 1 ラインは履んでもよいが、超えてはいけません。ジェットローラを持った手は、**ラインを超えてもかまいません。（持たない手は、ラインに触れてもいけません）**
- 2 膝の片方、ないし両方が床についていなければなりません。
- 3 投球のところにはサイドラインの延長をもうけましたので、このラインに触れたり、横にはみ出したりしての投球はできません。
- 4 ラインは、ジェットローラが触れたら撤去します。
- 5 ポイントゾーンの白の部分は外側の得点となります。
- 6 **得点の確認がすむまでは、セーフゾーンに立ち入ってはいけません。また、ジェットローラに触れてはいけません。**
- 7 中心からジェットローラまでの距離が両チーム同じの場合は、審判長がメジャーで図ります。それでも同じの場合は、そのローラは互いに0点とします。
- 8 今回のゲームは、相互審判ですが、お知らせしているルール以外は、その場で審判長が判断します。
- 9 **選手以外の応戦者が試合ゾーンに入ることは厳禁です。**